

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

事業の概要
事業開始年度 平成17年
大項目 基本目標 05 住民主体の協働のまちづくり
中項目 基本施策 01 住民主体で進めるまちづくり
小項目 施策 01 広聴広報
事務事業名 04 広報びぜん発行事業

事業の意図する成果とつなげる成果指標を設定

事業の目的
対象 (誰・何に対して) 市民(全世帯)
目的 (何のために) 市の行政情報や政策を分かりやすく正確に市民に提供するため
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか) 広報に登載すべき事項(市民に周知させる必要があると認められるもの)を分かりやすく正確に市民に周知するとともに、市民活動などを伝える

Plan

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績
細事業名 事業の説明 優先度
広報びぜん発行事業 情報収集 各課からの情報を収集するとともに、市民の活動などを取材 広報媒体発行 上記を基に「広報びぜん」を制作(ホームページにPDF版を掲載) 視覚障害者のために、広報をカセットテープに録音し「声の広報」を郵送(ホームページに読み上げソフトに対応したテキスト版を掲載)
広報配布事業 市職員(行政連絡員制度)が持ち帰り、自治会などが中心で全戸に配布

Do

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業費等
直接事業費 12,634
必要人員人件費 8,133
事業費計 20,767
国県支出金 0
受益者負担金 0
繰入金 0
その他 819
一般財源 19,948
受益者負担比率 -
結果指標名 単位 平成20年度実績 平成21年度実績 平成22年度実績
広報発行 説明 広報びぜん発行部数
結果指標 部数 192,000 190,800 190,800
対前年比 % 98.4% 100.0%
活動コスト 円 8,933,820 8,996,400 9,008,000
単位当たりコスト 47 47 47

(平成22年度事業)

事業の成果
成果指標名 年度 平成20年度 平成21年度 平成22年度 平成23年度目標値
読書率(%) 目標値(A) 90 90 90 90
実績値(B) 85.8 83.9 85.5 到達目標値
達成率(B/A) 95.33% 93.22% 95.00%

事務事業の評価
5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い
妥当性の評価 市の関与の妥当性 市が実施するよう法令で義務づけられている 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす 現在の市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない
コスト 単位当たりコストは前年度と比較して改善している 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある
目的達成度 成果指標の設定は適切である 成果指標の到達目標値は達成できそうである 成果指標達成率は前年度と比較して向上している

Check

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら

進行年度(H23年度)の改革改善内容
状況 拡充 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了
説明 読書率は平成18年度以降、常時83%以上を保っているが、23年度も更に読んでいただける広報となるように企画取材した「ラン・LAN・欄」を継続して行い、各地区(香登、伊部、吉永など)の地域のネットワークをテーマに特色ある記事を掲載できるように努める。

総合評価
5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い
市の情報発信媒体として最大のものであり、継続して積極的な取材を行い市民が読んでいただける広報となるように常に意識して取り組み。ホームページとともに常に研究を重ね市民にとってならない情報源となることが重要である

Action

平成24年度の方向性・取組目標
方向性 拡充 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了
取組目標 各部署の年間計画も定着しつつあるので、テーマを決めて各部署に市民の関心事項・事業の記事作成を依頼する。継続した紙面の充実を図り、情報紙としての役割が果たせるように積極的な取材活動を継続する。